

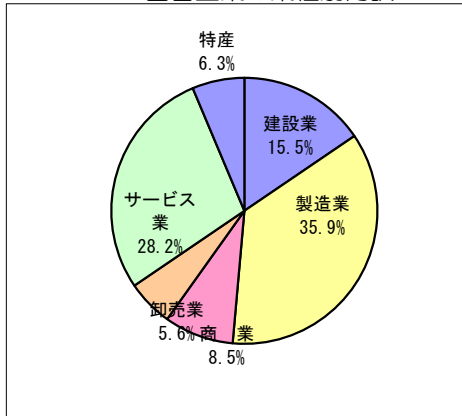
小野商工会議所会員事業所 景気調査（2019年第3四半期）集計結果

2019年10月31日

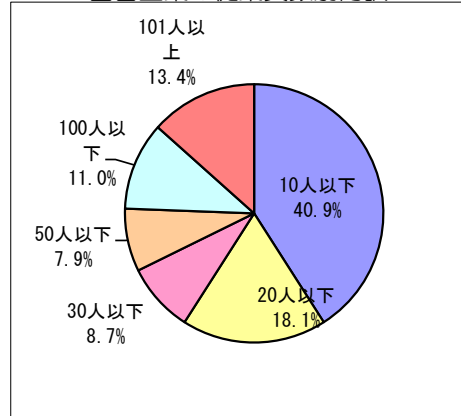
アンケート回答企業数 142社 （アンケート送付数 219社）
 回収率 64.8%

調査対象期間 2019年7月～9月
 比較対象期間 前年同期 2018年7月～9月
 前期 2019年4月～6月
 来期 2019年10月～12月

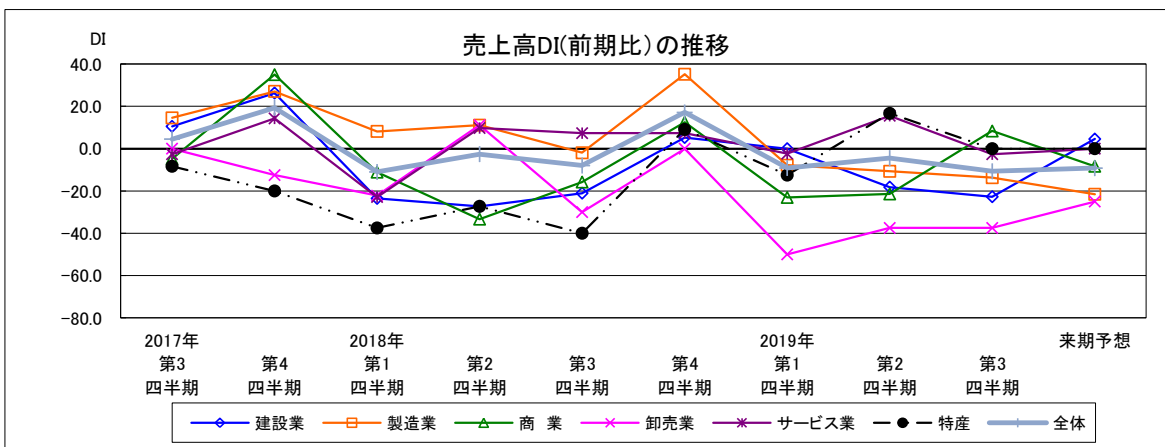
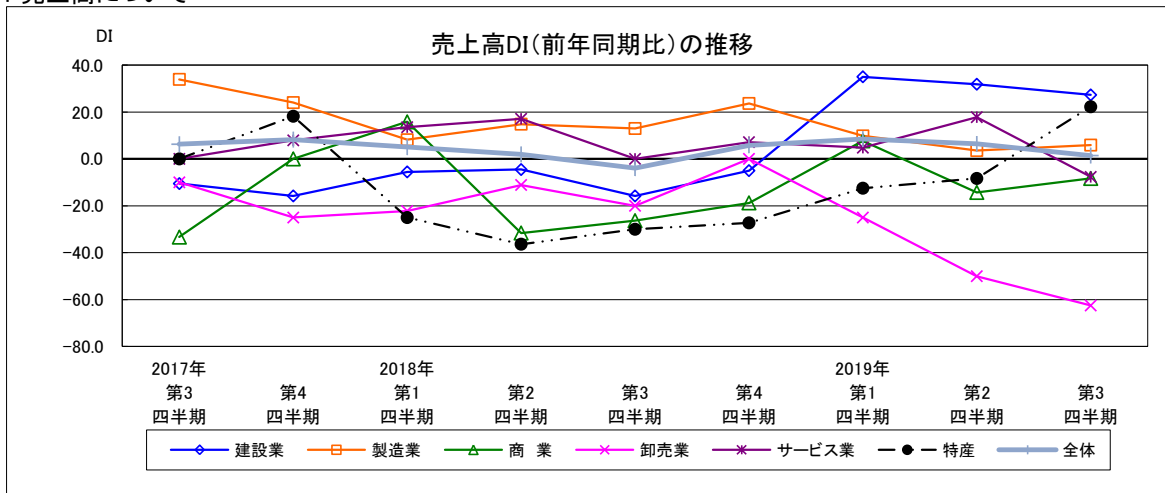
回答企業の業種別内訳



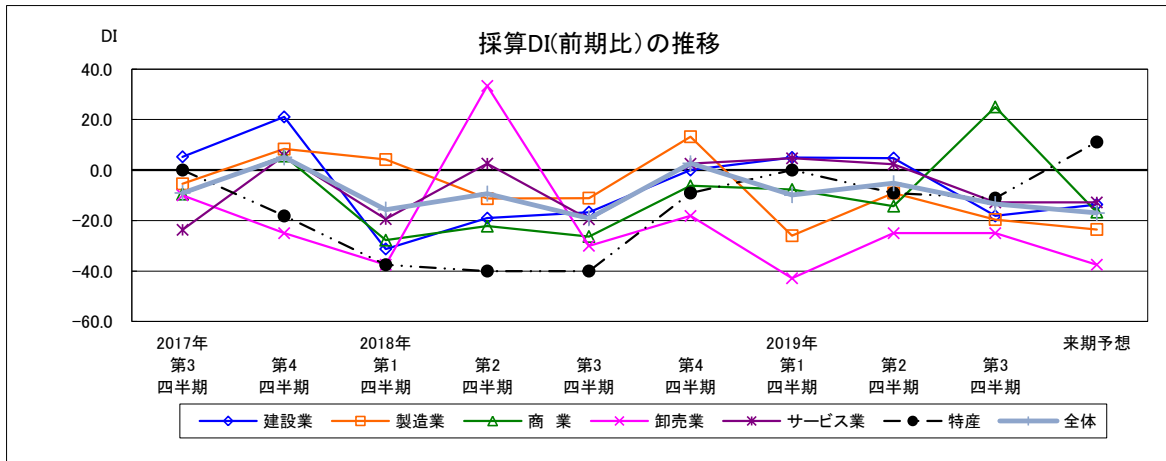
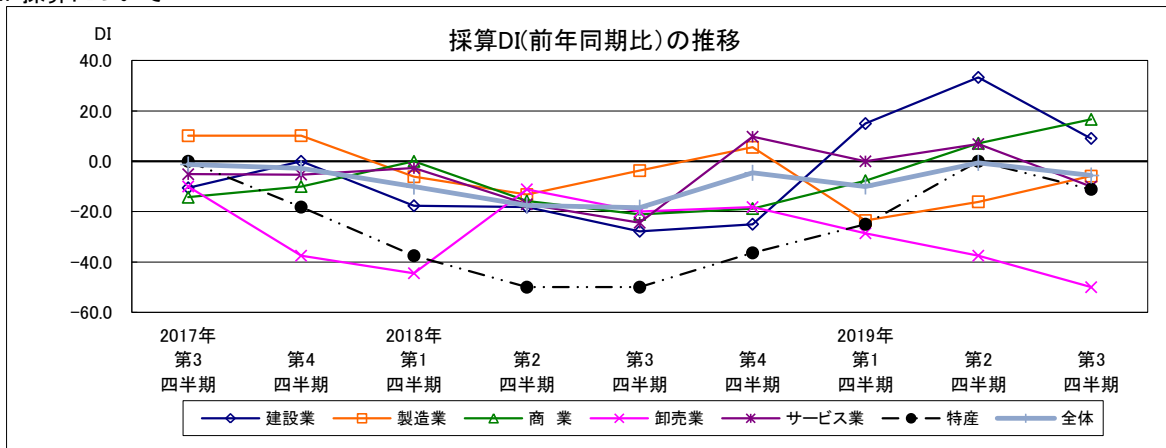
回答企業の従業員数別内訳



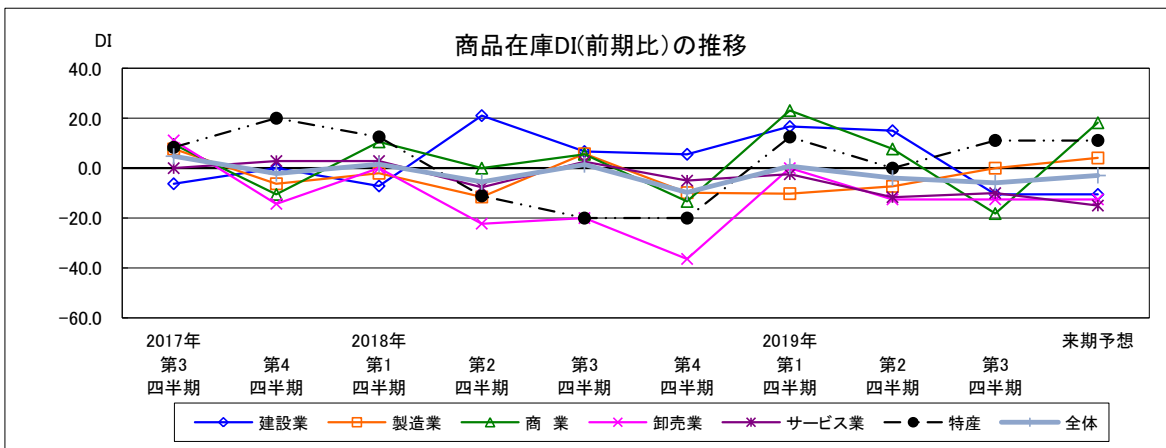
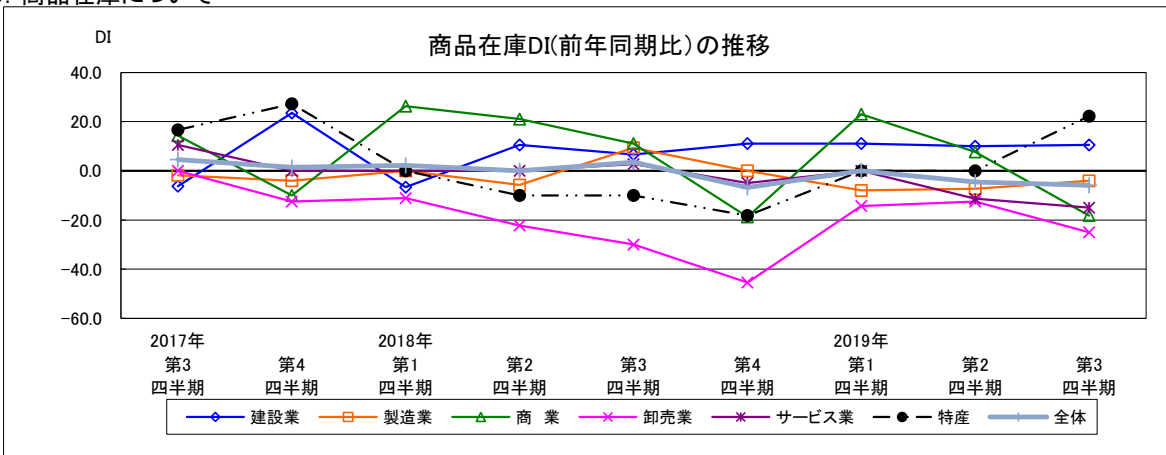
1. 売上高について



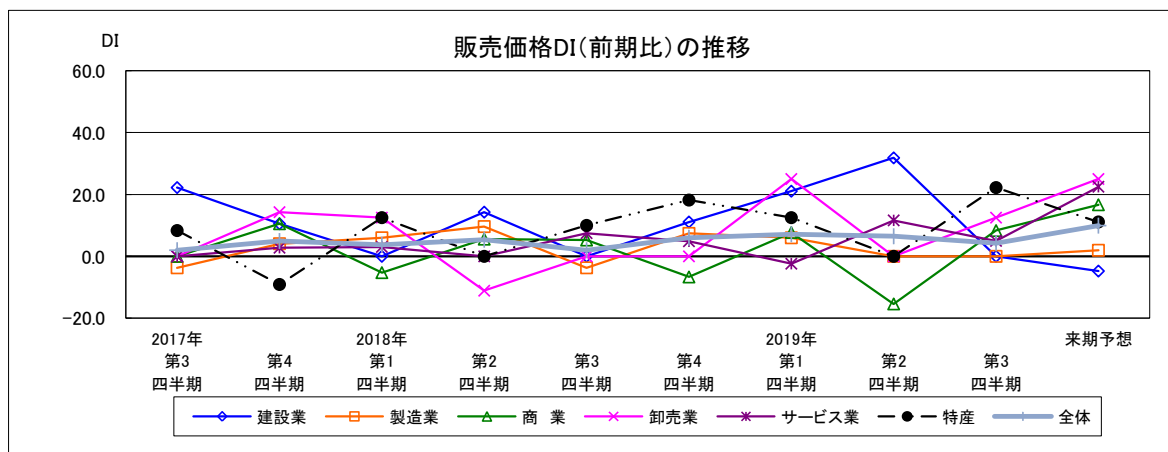
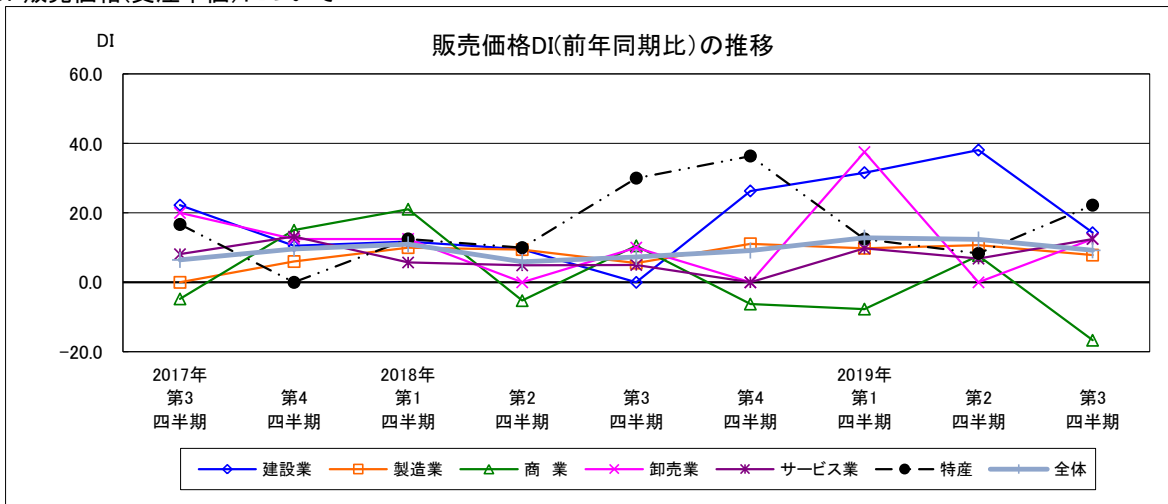
2. 採算について



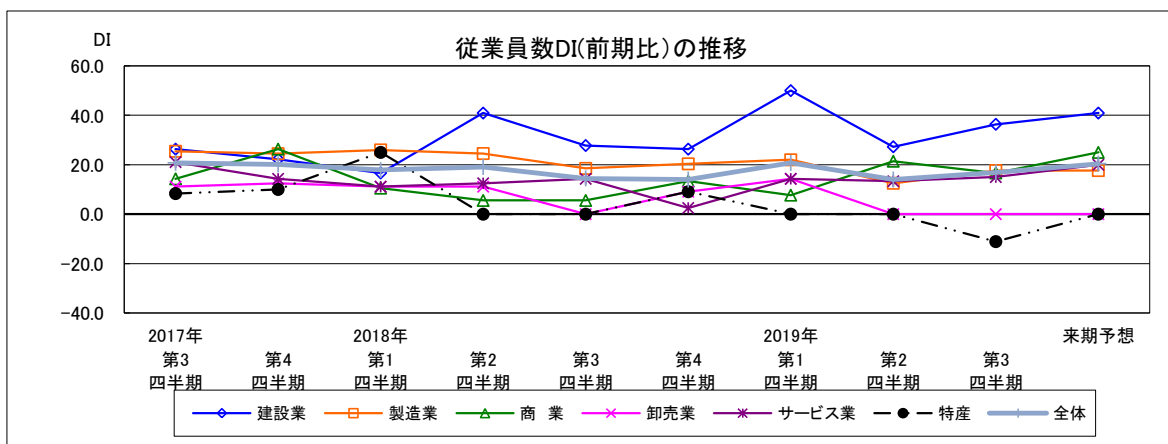
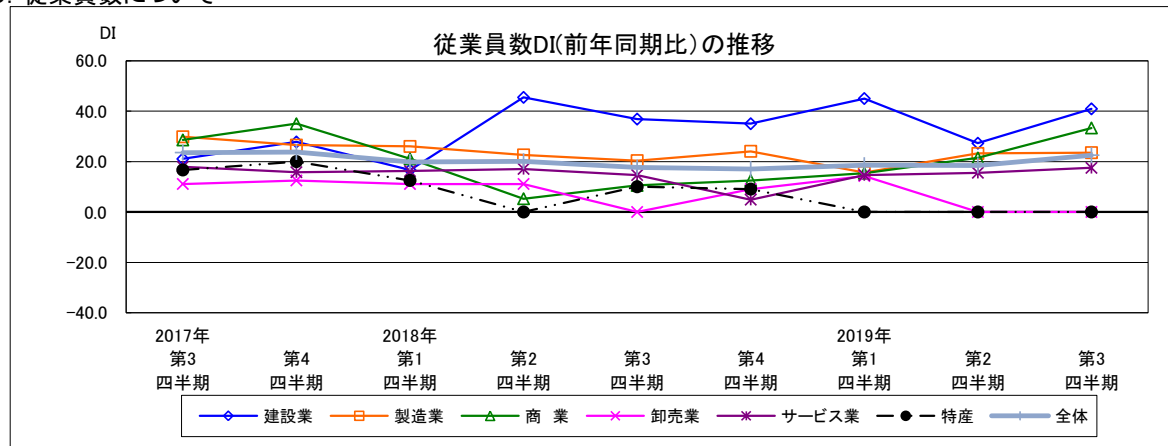
3. 商品在庫について



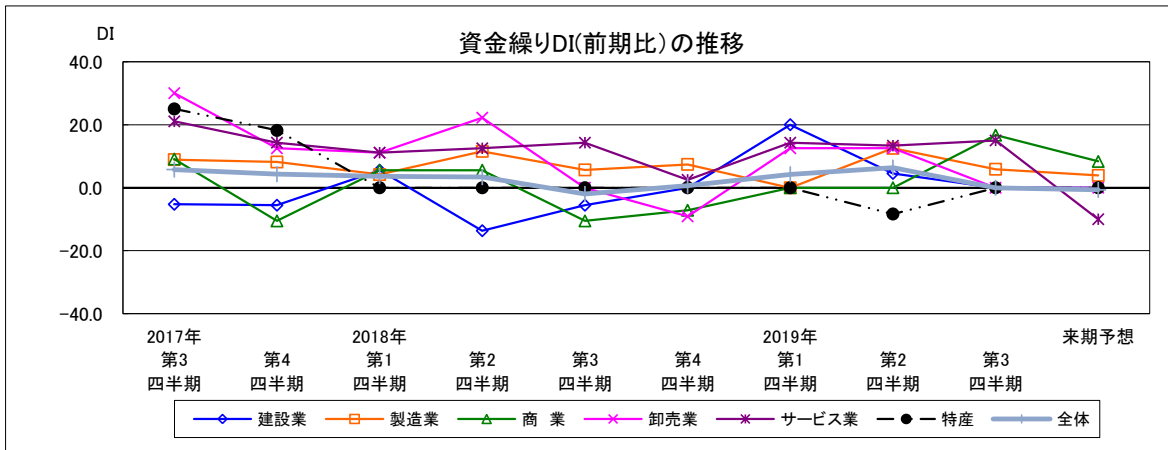
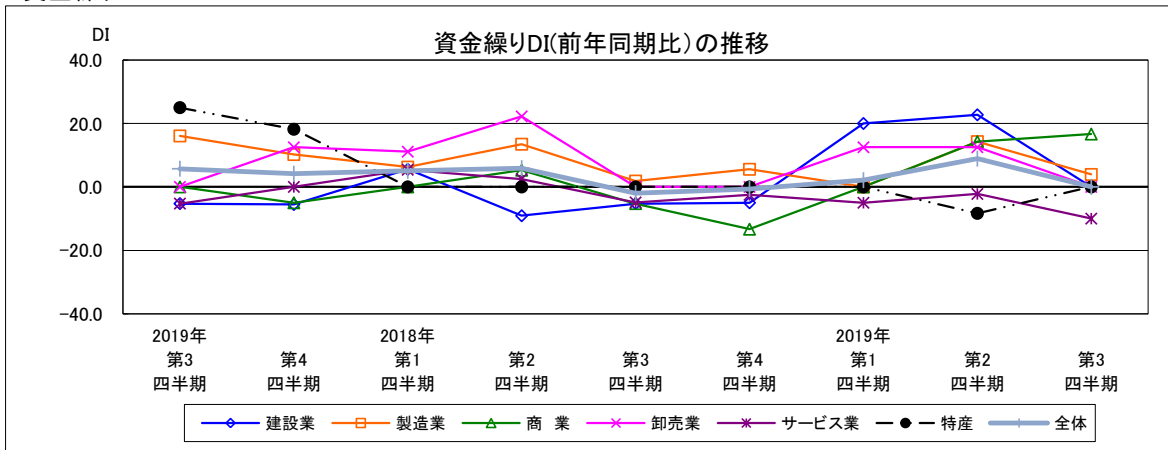
4. 販売価格(受注単価)について



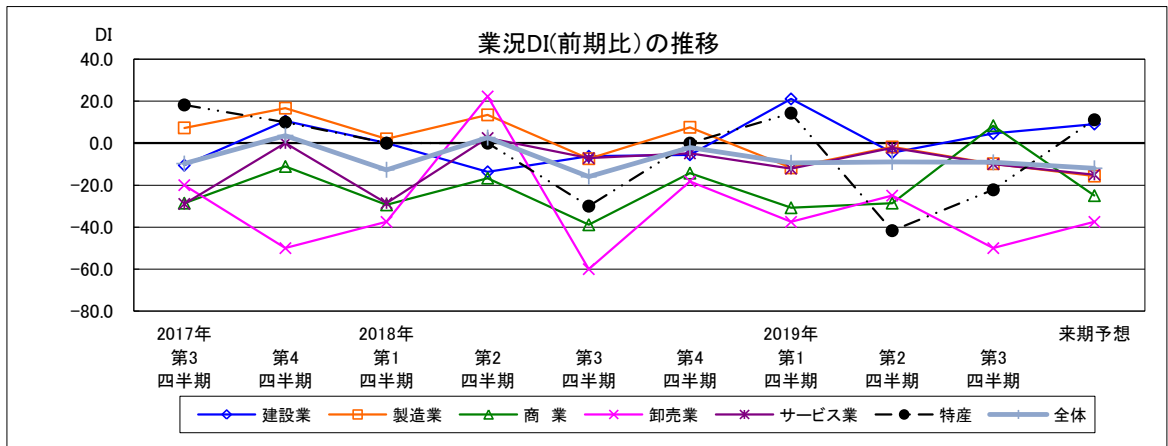
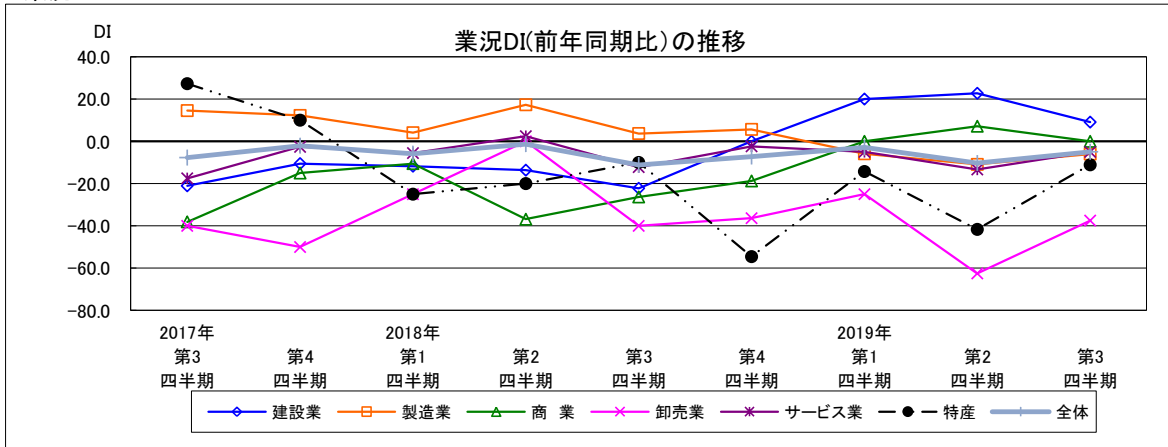
5. 従業員数について



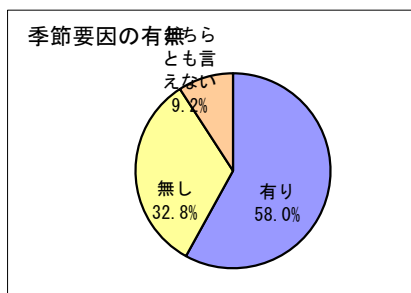
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- ・労働力不足が何よりもの課題。
- ・米中貿易戦争を発端とする世界不況や消費増税による影響で、民間設備投資が減少しています。又、今後ますますその傾向が顕著になると思います。
- ・人材が足りない。若い人材（特に高卒）を採用したいが困難。工場内の高齢化が進みつつある。
- ・生コンクリートの価格が今年4月に改定した事により採算がよくなってきている。
- ・2019年は消費税増税前に公共事業の前倒しのためか事業数が増加している。
- ・建築業においては、新築の受注がほとんどなく、増改築（リフォーム）の受注件数も減少してきている。建築業・土木業共に、有資格者などを新たに雇用して、事業規模の拡大発展させることが望ましい。
- ・総体的に弊社業界は景気は良くない。

○製造業

- ・海洋プラスチック、環境対応問題、脱プラの動き。
- ・増税が影響し、増税前が多少増加した。
- ・油圧機器部品を扱っているが、あまり大きな変化はない。
- ・受注は月により少々の変動はあるが、平均すれば変わっていない。建設機械の需要は堅調に推移しているため、現時点はやや安定。
- ・メイン取引先の受注が大幅下降。
- ・新規顧客開拓に伴い、今後受注増加が見込まれる。

○商業

- ・消費税の軽減税率はややこしく、申告して店内で飲食されるお客様は少ないです（以前より減った）。設備対応も含め、販売する側としては好ましくない政策だと感じています。
- ・人材確保
- ・農家の集約化に伴う農家個数の減少。

○卸売

- ・ネット販売業者との連携強化による売上拡大。
- ・将来会社を承継していくための人材を確保する必要があります。

○サービス

- ・労働力、車輛の不足。
- ・駆け込み需要で9月は昨年に比べかなり忙しくなりましたが、10月に入り、例年年末繁忙期の受注が増える時期なのに全く増えず、昨年に比べるとかなりの減少。年末に予想通りの仕事量が受注できるかどうか不安になってきます。
- ・アルバイトの不足。求人を出しても面接希望の電話もない。
- ・カフェ売上げ：自社製品の販売への売上率の変更を進めています。
- ・消費税増税による景況悪化を強く危惧します。日本商工会議所には組織をあげて日本国政府に対し、働きかけをお願いしたい。
- ・教師（教える事の好きな人）がいたら助かる。

○特産

- ・高齢の為、注文が多く入っても生産が限定的である。
- ・剪定鋏業界では、低価格帯商品については競合が激しくなっている。
- ・去年から止まっていた貿易が、今年6月から注文を頂いて出荷できるようになりました。